

ひだまり

令和5年1月27日(金)
足立区立中川東小学校
道徳通信 第9号
校長 豊田 純子
道徳教育推進教師 前田 康介

◇「自由」って何だろう?◇

先日、ある小学校の道徳授業を参観しました。その授業は、子供たちと「自由」について考えるという学習内容でした。
授業者の先生が「自由」って何だろう?と子供たちに問うと、「みんなの権利」「大切なもの」「みんなに平等に与えられているもの」という意見や「自分の思うようにできること」「誰にも邪魔されないもの」「束縛されないもの」という意見も出されました。子供たちの意見や考えを聞いていて、「なるほどなあ〜。」と子供たちの視点に寄り添える思いや、「それはどうかな…。」と受容しづらいという思いももちました。

もし、私が授業者だとしたら…

- 「自由」とは、周りのことを考えずに好き勝手できることではありません。
- 何をしても、「私の自由だから」で通ることはありません。
- 自分の思い通りに樂ができるということではありません。

ということや

○「自由」とは、自分で考え、正しく判断し、行動できること
ということ、子供たちと一緒に考えたいなと思いました。

また、「自由」には責任が伴います。自由に行動した結果、人に迷惑をかけてしまった。人に嫌な思いをさせてしまった。これは、誰しもがもつ「自由」ではなく、「自分勝手」ではないでしょうか。自由に行動するということは、自分自身に対する責任をもつ必要があるのではないのでしょうか。

子供たちが、日々の生活の中で、やることや考えることを面倒くさがったり、自分から動かずに誰かに言われるのを待っていたり・・・そのような態度でいるとしたら、それは自分で考え、正しく判断し、行動するという「自由」を大切にしていないということだと私は思います。

多くの人が主張する「自由」は、本当に「自由」なのか、「自由」を誤認した「自分勝手」ではないのか。
これからの多様な社会を力強く生き抜く子供たちには、自身の「自由」を大切に
してほしいと感じました。

◇1年生の道徳の時間◇



<令和5年 1月12日 田中英恵学級>

教材名: 『はしのうえのおおかみ』
主題名: 親切にすると 気持ちがいい (授業のテーマを「主題名」と表します)
ねらい: 親切な行為は、相手をうれしい気持ちにさせるだけでなく、自分もうれしい
気持ちになることに気付き、身近な人に温かい心をもって優しく接しようと
する心情を育てる。

今回のお話は、一本橋で、うさぎやたぬきを追い返していた
おおかみが、大きなくまに優しくされたことから、相手を思い
やり、親切にすることの気持ちよさに気付く内容です。おおか
みが、大きなくまの優しい態度に接して、今までの自分の行動
を振り返り、誰に対しても思いやりの心をもって接することの
大切さに気付いた点から、親切にすることの大切さについて
考えさせることができる教材になっています。

くまに橋を渡してもらう場面では、担任がくま役になり、お
おかみ役の子を実際に持ち上げて渡してあげる役割演技を取り
入れることで、くまの後ろ姿を見送るおおかみの気持ちに共
感できるようにしました。おおかみのお面を頭につけた子供た
ちは、おおかみになりきってじっくり考えていました。

最後には、自分の経験を振り返り、そのときの気持ちや相手
の様子を思い出すことで、親切にすると相手も自分もうれしく
なることに気付いていました。

